

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
情報基礎演習 II Information Basics Practice II		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(なし)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
コンピュータリテラシー I・II				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
亀田和則	講義棟 2階	月曜日		授業中に指示します
授業の概要				
ビジネスの現場でさまざまなデータを活用するための基本的な知識とExcelを用いた具体的な分析方法を学ぶ。				
授業の目標				
①ビジネスデータ把握力（平均値、中央値、最頻値、レンジ、標準偏差）について説明できるようにする。 ②ビジネス課題発見力（外れ値の検出、度数分布表、標準化、移動平均、季節調整）について説明できるようにする。 ③ビジネス仮説検証力（集計、散布図、相関、回帰分析、最適化）について説明できるようにする。				
授業の方法				
演習形式で、必要に応じて講義を行いながら進める。 各章の終了時にファイルの提出を求める。 理解度の確認を2回実施する。				
学習の成果（学習成果）				
授業の目標①②③を達成すると、Excelでデータを分析することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（学習成果、成績評価）			
第2回目	ビジネスデータ把握力 平均値、中央値			
第3回目	ビジネスデータ把握力 最頻値、レンジ			
第4回目	ビジネスデータ把握力 標準偏差			
第5回目	理解度の確認1と解説			
第6回目	ビジネスデータの課題発見力 外れ値の検出、度数分布表			

第7回目	ビジネスデータの課題発見力 標準化、移動平均
第8回目	ビジネスデータの課題発見力 季節調整
第9回目	理解度の確認 2 と解説
第10回目	ビジネス仮説検証力 集計
第11回目	ビジネス仮説検証力 散布図
第12回目	ビジネス仮説検証力 相関
第13回目	ビジネス仮説検証力 回帰分析
第14回目	ビジネス仮説検証力 最適化
第15回目	理解度の確認 3 と解説

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	40%	ファイル提出が該当する。ファイル1つあたりの配点は70点/7である。満点条件は「教科書とおりの内容のファイルが作られている」である。
調査報告書		
小テスト	60%	理解度の確認が該当する。1確認の配点は60点/3である。満点条件は「提出されたプログラムに対して、何も施すことなく正常に動作する」である。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

教科書：「Excelで学ぶビジネスデータ分析の基礎 ビジネス統計スペシャリスト・エクセル分析ベーシック対応」（出版：Odyssey）※必ず購入し、第一回目の授業から持参すること。

履修上の留意点・ルール

教科書を購入していない学生はこの授業を履修出来ない。
2回の遅刻は1回の欠席となる。